Eco & Peace Navigator

エコ&ピースナビゲーター

2021年 5月号 Vol.27

〈特別編〉

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
第1回「ジャパン SDGsアワード」受賞

発行日：2021年4月26日
発行：パルシステム東京 政策推進本部

食材のお届けだけじゃない！
パルシステム東京の
社会活動をご紹介。

世界で起こっている紛争や貧困問題を知ってほしい
～女優サヘル・ローズさんからのメッセージ～

戦争孤児だった私を救ってくれた母（養母）フローラとともに、来日してから28年。４年前、母にがんが見つかったとき、私は孤独と不安から自分の生きる意味を求めて、こころの旅に出ました。紛争によって行き場を失った人々や極めて貧しい生活を強いられている子どもたちとの出会いを通じて、傷みとともに生きることの意味を彼らから教わりました。その時の様子がTVの特番で放送され、大きな反響がありました。あの放送から早いもので1年以上が経ちます。パンデミックとなった新型コロナウイルスの猛威は、貧しさのあまり何も予防できない弱者に容赦なく襲いかかります。そればかりではありません。支援の人手も物資も不足するなか、気候変動などの影響で作物が育たない地域は、とても悲惨な状況です。特に紛争地域では飢餓や病気で苦しんでいても満足のいく治療が受けられずに命を落とす人が多くいるのです。こんな理不尽なことが現実に起こっていることを多くの人に知ってほしい。今、私にできることは、日本で応援してくださる方々と心を一つにしていくこと。そして、一人でも多くの命を救いあげることです。

不思議なご縁で、パルシステム東京さんから、発信させていただく機会をいただきました。パルシステム東京さんは『平和カンパ』を通じて、世界の厳しい境遇にある子どもたちへ、多くの組合員がカンパしてくださっていることをうかがいました。カンパ先の一つ、イラクで病に苦しむ子どもたちとそのご家族を支援するJIM-NETとは、こころの旅でイラクを訪問した際に、大変お世話になった大切なパートナーです。

パルシステム東京さんの理念（「食べもの」「地球環境」「人」を大切にした「社会」をつくります）には、モノが不足している貧しい国にも、ちゃんと行き渡るように、という願いも込められているような気がします。そして何より、私たちが暮らす日本が平和でなければ支援することもできなくなってしまいます。心を一つにして世界につなげていきましょう。

特定非営利活動法人 JIM-NET について

パルシステム東京が、毎年実施している『国際協力平和カンパ』の贈呈先として長年支援しているNGO団体です。

団体設立の経緯は、イラク戦争で使われた劣化ウラン弾（劣化ウランを主原料とする合金を使用した弾丸）が原因と思われる小児がんが多くの子どもたちに発症し、イラクの小児科専門家から「助けてほしい」と言われ、2004年に現地訪問したことが支援のはじまりです。

2019年5月には、イラクのアルビルにある小児がん専門病院の敷地内に『JIM-NETハウス』を建設し、子どもの医療支援と看病する家族の居場所を提供。最近では、難民キャンプなどで新型コロナウイルス感染防止のための緊急支援をおこないました。

サヘル・ローズさんは2年前にJIM-NETハウスを訪れ、入院患者とそのご家族の辛く悲しい運命を目の当たりにしました。この出会いをきっかけに今も支援を続けています。

©JIM-NET

PROFILE

サヘル・ローズ（女優・タレント）

1985年イラン生まれ。イラン・イラク戦争の最中、孤児となり児童養護施設で数年間暮らす。７歳の時に養子縁組が成立し、８歳の時に養母と共に来日。高校時代から芸能活動を始めてJ-WAVEでラジオデビュー。舞台「恭しき娼婦」では主演を務め、映画「西北西」や主演映画「冷たい床」は様々な国際映画祭で正式出品され、イタリア・ミラノ国際映画祭にて最優秀主演女優賞を受賞。芸能活動以外にも国際人権NGOの「すべての子どもに家庭を」の活動で親善大使を務めるなど、国内外の厳しい環境に置かれた子どもたちに寄り添う活動を続けている。

オンライン学習会
『キッチンで学ぶ・こころのレシピ』
～イランとイラク、互いの料理を食べて想いをつなぐ～

キックオフイベント

ペルシャ料理とアラブ料理を紹介しながら、平和について学ぶオンライン企画です。両国が抱えている紛争・貧困の現状やサヘルさんが旅で出会った人たちとのその後についてお話しいただきます。

■日　　時：**5月22日(土)19：00～20：30**（90分）
■会　　場：ご自宅(Zoomを使用したオンライン開催)
■講　　師：サヘル・ローズ 氏
■コーディネーター：JIM-NET(平和カンパ贈呈団体)
　　斉藤 亮平 氏、崔 麻里 氏
■参 加 費：無料
■定　　員：500名
■申込締切：5月22日(土)19時00分
　※定員500名に達した時点で受付終了
■問合せ先：政策推進課
■Eメール：paltokyo-seisaku@pal.or.jp
※申込方法は二次元コード及びパルシステム東京HPより、
　参加登録を案内します。

サヘル・ローズ 氏

JIM-NET
左：崔麻里 氏
右：斉藤亮平 氏

＼お申込はこちら！／

未来へつなげ 2030

オンライン連続講座／未来を考えるプロジェクト

持続可能な開発目標SDGsは、コロナ禍で深刻な状態に・・・

パンデミックによって、支援の人手もモノの流通も鈍くなり、SDGsが目指す
17のゴールは、果たして2030年までに達成できるでしょうか？
連続講座に参加して、一緒に未来を考えよう！

世界では、6人に1人（約3億5600万人）の子どもたちが「極度に貧しい」くらしをしています。

©パレスチナ子どものキャンペーン

出典：日本ユニセフ協会 SDGs CLUB

国連は2030年までに「極度の貧困※をあらゆる場所で終わらせる」ことを目標にしていますが、世界的に流行した新型コロナウイルス感染症によって、20年間減少し続けてきた貧困の数は、昨年から急増してしまいました。極度の貧困とは、栄養のある食事を摂ることができない、衛生面に気を配ることができない、お金がないことを理由に病院や学校に安心して通えないなど、健康的な暮らしを送ることができない人々です。紛争や迫害によって故郷を追われた難民の人々は、受け入れ国の政府や国連、国際社会の支援がなければ生きていくことさえままなりません。※国際貧困ライン（1日1.9米ドル以下）の生活（2021年2月現在）

Question 1

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）は、昨年末に難民や国内避難民の数が過去最多と発表しました。さて、世界にはどれくらいの難民（国内避難民を含む）がいますか？

＼正解はこちら！／

①約8万人
②約800万人
③約8000万人

世界を生徒40人の教室と考えると、その日食べるものがない、明日以降も食べものをえられるか分からない状態の人が4人もいます。

出典：日本ユニセフ協会 SDGs CLUB

昨年7月の国連の調査によれば、新たに多くの人々が飢餓状態に陥っていることが明らかになりました。この世界には十分な食料があるにも関わらず、飢餓に苦しむ人々は今も増え続けています。その原因の一つは『食品ロス』。日本は年間600万トン以上が捨てられています。これは日本に住む私たちが毎日お茶碗1杯分の食料をゴミに捨てている計算になります。その半分以上は封も開けられていない売れ残りや規格外品などの事業系廃棄物です。

子どもたちの栄養不足は、内臓や筋肉、知能の発達を遅らせ、さらに深刻になると死に至ります。貧しい国の子どもたちが毎日十分な栄養を摂ることができれば、その国の将来も成長していくはずです。

Question 2

その日食べるものがない、
明日以降も食べものをえられるか
分からない人は、
世界にどれくらいいる？

＼正解はこちら！／

①約1億9000万人
②約3億9000万人
③約6億9000万人

紛争・貧困・難民などをテーマにした学習会を開催します。

【1】5月22日（土）19：00「キッチンで学ぶ・こころのレシピ」サヘル・ローズ氏／JIM-NET
【2】7月頃を予定しています。※詳細未定

もし、世界のどこかで核兵器が使われてしまったら・・・

出典：日本ユニセフ協会 SDGs CLUB

現に存在している核兵器1発の威力は、あらゆる戦争に用いられた爆弾全てを合わせたよりも、ずっと大きな破壊力をもっています。そのため、密集した都心部に落とされてしまったら、その被害は史上最悪の規模になることは間違いありません。たとえ爆風から逃れて生き残った人も、広範囲に放射能汚染にさらされ、白血病などの病気に苦しめられる人が大量に発生してしまいます。そして、放射能の影響は後世にも及び、未来に産まれてくる子どもたちをも苦しめます。今年1月に『核兵器禁止条約』が発効されたことは、人類にとって大きな一歩になりましたが、「核兵器のない世界」の実現には、多くの人々の後押しが必要です。

Question 3

2020年6月時点で世界には
何発の核兵器が存在する
でしょうか？

＼正解はこちら！／

①410発
②1,340発
③13,410発

核兵器をテーマにした学習会を開催します。

2022年1月頃に予定しています。※詳細未定

外来種（がいらいしゅ）の流入を許すと、生き物の絶滅を招くことも…

14 海の豊かさを守ろう　15 陸の豊かさを守ろう

私たちが暮らす世界的な大都市・東京。一見すると生き物がとても少ない場所に思えますが、実際には驚くほど多様な生き物が暮らしています。その理由としては、最も都市化が進んだ都心部においても、皇居や明治神宮など古くからの大規模緑地があることや、街中でも公園などにあるささやかな緑地が生き物のすみかとなっていることがあります。

しかし、同時に人間の活動にともなって、東京で生きづらくなっている生き物もいます。その原因の一つとして、外来種（がいらいしゅ）の問題があります。外来種とは、もともとはその地域にいなかったのに、人間の活動が原因で他の地域から連れてこられた生き物のこと。外国からやってきたものだけでなく、国内の他の地域からやってきたものも外来種に含まれます。すべての外来種が問題となるわけではありませんが、中には野生化し、数が増えることで在来種（ざいらいしゅ）の生き物を絶滅の危機に追いやってしまうものもいます。具体的には、外来種がその地域に生息していた在来種を食べたり、エサをめぐって競争が起こったりすることで、もともとその地域にいた生き物の数が減ってしまいます。

外来種の問題は人間の活動から生じるものなので、私たちがきちんと知識を持って、悪影響を生む外来種を増やさないよう努力することが大切です。飼っている生き物を外へ放さない、などのルールを守ることで、東京の自然を私たちが守ることができます。また、自分が住んでいる地域にどんな生き物が生きているのか調べてみるのも良いですね！

※生き物の絶滅の原因は外来種の流入以外にも生息域の消失、気候変動、農薬などがあります。
※参考文献：東京都環境局キッズページ「外来種って何だろう？」
URL：https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/kids/water.files/kankyo1290.pdf（2021.3.15参照）

外来種被害予防三原則

1. むやみに持ちこまない
2. 飼っている生き物を捨てない・放さない・逃がさない
3. 他の地域に拡げない

Question 4

次のうち、外来種はどれでしょう？

アメリカザリガニ

ウシガエル

シロツメクサ

＼正解はこちら！／

生物多様性保全をテーマにした学習会を開催します。

6月19日（土）13：30「“昆虫一家”の2代目に聞く～世界的に生き物が豊かな大都市・東京の今～」須田真一氏 ※6月の講座は外来種がメインの内容ではありません。

ペットボトルやビニール袋などのプラスチックごみが年間800万トン、海に流れ出ています。

3 すべての人に健康と福祉を　9 産業と技術革新の基盤をつくろう　11 住み続けられるまちづくりを　12 つくる責任つかう責任　13 気候変動に具体的な対策を　14 海の豊かさを守ろう

出典：日本ユニセフ協会 SDGs CLUB

近年、海や川のプラスチックごみ問題がさかんに取りざたされるようになりました。中には、胃の中から数十キロにも及ぶ大量のプラスチック袋が見つかったクジラの死体など、ショッキングなニュースも目にします。一体、なぜこのような事態が起きているのでしょうか？

プラスチックは軽くて強い、などの理由から年々生産量が増え続け、2015年のプラスチック生産量は世界全体で3.81億トンとなっています※。

しかし、不適切な使い方をすると海や川のプラスチックごみ問題へとつながってしまいます。不適切な使い方とは、街中でのポイ捨て、割れたプラスチック製品の放置、ごみ置き場であふれたごみの放置、家庭からの生活排水などです。海や川に直接捨てているわけではなくても、風雨や海流などによって運ばれ、海や川のプラスチックごみを発生させてしまっているのです。そうして海にたどり着いたごみは、海岸にあるものなら清掃することで取り除くことができても、海に漂っていたり沈んでいるものの全てを回収することは難しいといわれています。

このように、海ごみの多くは私たちの生活の中から出てきたものであることがわかります。したがって、ごみはポイ捨てしたりせずきちんと決められた場所に捨てたり、できるだけごみを出さない暮らしを考えるなど、いますぐできることから始めましょう。

※出典：米カリフォルニア大のガイエル教授らの調査

こんなところからもプラスチックごみが…

Question 5

ペットボトルが海ごみになった場合、完全に自然分解されるまでに何年かかるでしょうか？

①4年
②40年
③400年

＼正解はこちら！／

プラスチックごみ問題をテーマにした学習会を開催します。

10月16日（土）10：00「身近なマイクロプラスチック汚染（河川からの流出について）（仮）」二瓶泰雄氏

背景の絵は、平和カンパ贈呈団体のJIM-NETを通じて提供していただきました。
支援先のイラクで小児がんなどの病気を患った闘病中の子どもたちが描いた絵を1枚1枚加工して花や動物を散りばめました。JIM-NETでは2006年から冬季限定の「チョコ募金」を毎年行っており、パッケージには子どもたちの絵が使われています。チョコ募金は、小児がん支援やJIM-NETハウス（小児がん総合支援施設）の運営、シリア難民支援、福島支援に役立てられます。※詳しくはJIM-NETのホームページをご覧ください。

〈環境編〉

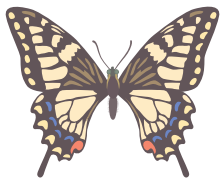
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

第1回「ジャパン SDGsアワード」受賞

発行日：2021年4月26日
発行：パルシステム東京 政策推進本部

“昆虫一家”の2代目に聞く

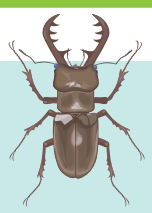
～世界的に生き物が豊かな大都市・東京の今～



「日本のファーブル」と呼ばれた昆虫研究者を父に持つ須田真一氏

昆虫をはじめるきっかけとなったのは、父（孫七）が昆虫学者かつナチュラリストであったことが大きいです。物心ついた頃から父と一緒に近所や野山で昆虫採集などをしながら、昆虫をはじめとする生き物や自然環境の見かたや接し方、調査研究のやり方などを自然に覚えることができました。生き物全般に興味がありますが、昆虫では特にトンボとチョウが好きです。保全を始めるきっかけとなったのは、昆虫採集や調査研究のために各地を訪れている中で、開発などの影響で自然や生き物が急速に失われていくのを目の当たりにしたことです。これだけ楽しませてもらっているので、微力ながらもせめてもの恩返し、という気持ちで取り組んでいます。

須田 真一 氏（東京大学総合研究博物館研究事業協力者）
1968年東京生まれ。建設省土木研究所環境部（当時）、東京大学大学院農学生命科学研究科、中央大学理工学部人間総合理工学科を経て現所属。日本トンボ学会副会長。専門は昆虫学、保全生態学。



企画告知

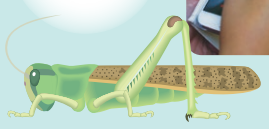
“昆虫一家”の2代目に聞く
～世界的に生き物が豊かな大都市・東京の今～

■日　　時：**6月19日(土)13：30～15：30**（120分）
■会　　場：ご自宅(Zoomを使用したオンライン開催)
■講　　師：須田　真一 氏
■定　　員：50家族(参加費：無料)
■申込締切：6月4日(金)12：00
■申込方法：二次元バーコード及び公式HPよりお申込みください。
■問合せ先：環境推進課　　Eメール：kankyo-tokyo@pal.or.jp

＼お申込はこちら！／

参加者の皆さんも一緒に！ 須田先生の解説コーナー

事前に「自分の街で見つけた虫の写真」をメールで送ると…



当日、須田先生が解説してくれます!!

※撮った写真の送り方は当選された方に6月4日頃メールでお伝えします。
※時間の都合上、すべての写真を取り上げられない場合があります。
※写真はイメージです。

【 生物多様性とは 】

すべての生き物の間に違いがあることであり、これらの生き物のつながりが、生態系を構成しています。生物多様性には、森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁などいろいろなタイプの生態系があることを示す「生態系の多様性」、動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生き物がいることを示す「種の多様性」、同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様、生態などに多様な個性を持つことを示す「遺伝子の多様性」の3つのレベルの多様性があります。しかし今、その生物多様性が様々な危機に瀕しており、かつて身近にいた生き物でも、絶滅のおそれがあるものも数多くなっています。

パルシステム東京では、生物多様性保全の普及・啓発活動として「生き物モニタリング調査」「侵略的外来種の駆除」「東京の緑を守る」活動に取り組んでいます。今回の講演は2009年から取り組んでいる「市民参加の生き物モニタリング調査」で講師を務めている須田真一氏を迎え、身近な昆虫や植物を通じ東京の生物多様性について楽しく学びたいと思います。

2020年度はコロナ禍で生き物モニタリングは開催できませんでしたが、2019年度は7月「東京大学リサーチキャンパス」11月「いなぎめぐみの里山」で開催しました。

パルシステム東京は2009年度から生物多様性保全に取り組んでいます。

生き物モニタリング調査の親子向け企画として毎年開催している「宿題バッチリ！夏休み子ども生きモニ」では、東京大学駒場リサーチキャンパスやパルシステム東京新宿本部の近くにある戸山公園などをフィールドとし、都会に残っている自然やたくさんの生き物に目を向け環境保全の大切さなどを学んでいます。

2019年11月には初めて「いなぎめぐみの里山」をフィールドにし、生きモニを開催しました。パルシステム東京では生物多様性保全についての啓発活動を継続的に取り組んでいきます。次回企画の際にはぜひ、ご参加ください。お待ちしています。

東京大学リサーチキャンパスにて

オオカラシトンボ

ハスの花

いなぎめぐみの里山にて

オオカマキリ

ツチイナゴ